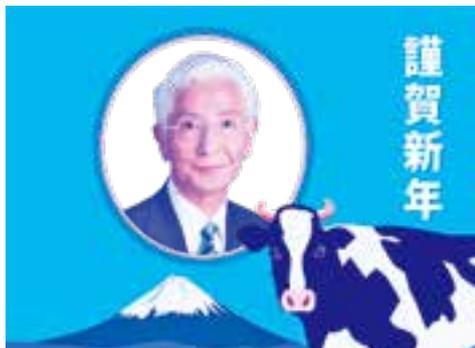


URL <http://aomori.lin.gr.jp>

畜産協会だより

Vol.41

発行
一般社団法人 青森県畜産協会

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

令和3年の年頭にあたり、協会員の皆様および関係者の皆様から昨年賜りました協会業務の推進に係わる御支援、御協力に対し、厚くお礼申し上げます。

さて、昨今の畜産を取り巻く情勢を振り返ってみますと、新型コロナウイルスの感染拡大が大きな社会問題となっている外、家畜防疫面では例年にないほどのスピードで高病原性鳥インフルエンザ、豚熱などの家畜伝染病が猛威を振るっています。

特に、コロナ禍による影響については、昨年2月頃から牛肉の価格が2～3割程度低落し、これに呼応するように肉用子牛価格も下がりましたが、現在は牛肉価格、子牛価格共に回復しています。しかしながらこの間、牛マルキン交付金事業の補てん金総額は昨年4月から11月期において、前年同期比3.4倍(約13億円)の金額が交付され、セーフティーネットの役割を果たしてきました。今後も交雑種や乳用種については補てん金交付があるものと思われませんが、協会是最善の対応ができるよう万全の準備を整えてまいります。また、家畜伝染病の防疫対策にも取り組んでまいります。

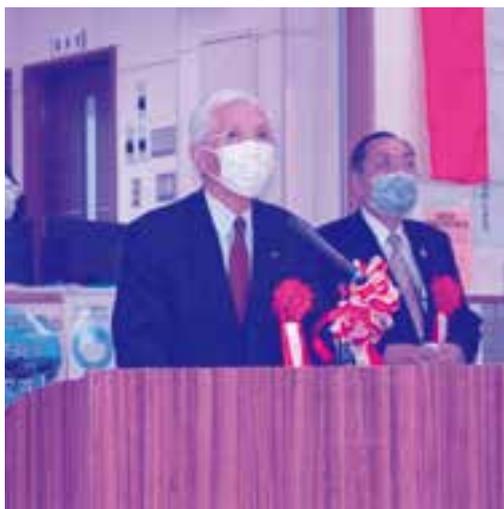
さらに、担い手の高齢化や後継者不足、労働負担の軽減といった課題にも取り組みながら、和牛繁殖雌牛の増頭などの生産基盤の強化や収益力強化のための畜産クラスター事業（機械導入）、労働負担軽減のための畜産ICT事業など各種事業を適切に行うほか、畜産農家への支援のための経営指導を基本に、家畜防疫・衛生対策事業、幅広い情報提供などに引き続き積極的に取り組んでまいります。

結びとなりますが、今年の干支は「丑」です。私たちの生活に密接に関わる牛は、勤勉によく働く姿が「誠実さ」を象徴し、身近にいる縁起の良い動物として十二支に加えられたようです。牛歩のごとくじっくりと先を見据える年にしたいものです。

協会員の皆様および関係者の皆様にとって今年1年が実り多いよい年となりますように、また、新型コロナウイルスの1日も早い終息をご祈念申し上げまして新年のご挨拶といたします。



県家畜市場の初セリ



令和3年1月8日、七戸町にある青森県家畜市場において肉用子牛の初セリが行われました。当日は強い冬型の気圧配置による暴風雪が吹き荒れ、交通障害も発生しているなか、県内津々浦々から黒毛和種の子牛が家畜市場に勢揃いしました。主催者及び来賓挨拶に続いて、畜産協会の小山田会長の発声により来場者一同がりんごジュースで乾杯した後、子牛483頭がセリにかけられました。平均価格は70万3千円で前年同月より約2万円、前月より3万4千円下回りました。しかし、昨年4月の緊急事態宣言後に子牛価格が大幅に下落したことから、宣言再発令直後の今回の初セリでどのような価格になるか不安でしたが、市場関係者は「価格帯は昨年並み。急激な値下がりは見られず安心した。」と評価していました。この日の最高値はゆうき青森農協の小比類巻正幸さんが出品した雌子牛で146万3千円でした。なお、新型コロナウイルス感染防止を受け、毎年行っている縁起物の餅まきは取り止めとなりました。今年の干支は「丑」、畜産の年です。繁栄を期待したいですね。

「畜産あおもり若手女子会」研修会を開催



畜産協会は、畜産女性の役割と活躍が今後とも重要であることから、経営参画を後押しするため、6年前から経営や技術に関する各種研修会や畜産女性同士の情報交換会の開催などに取り組んでいます。

この度、令和2年度第2回目の研修会を青森県畜産研究所（野辺地町）において開催しました。午前には受精卵関係の実習と講義を実施。実習は顕微鏡を使用して、シャーレー内で培養された受精卵をピペットで吸引する作業を反復しました。講義では経膈採卵技術（OPU）による受精卵生産の内容とメリットについて学びました。午後は「子牛の頭らくづくり」を行いました。テキストを参考にしつつも上手く行かなくて難儀している様子でした。子牛用頭らくが成牛用になった人もいましたが、最後は講師の手ほどきでようやく完成。2頭分の頭らくを作りました。

全国優良畜産経営管理技術発表会・表彰式



中央畜産会が主催する全国優良畜産経営管理技術発表会の今年度の最優秀賞に横浜町の飯田養豚場が選ばれ、11月30日に青森市内で表彰式を行いました。発表会は25日に東京都内で行われ、事前選考を通過した全国8事例を審査員が審査。飯田養豚場は最優秀賞として農林水産大臣賞、中央畜産会長賞などを受賞した。県内で最優秀賞を獲得したのは平成21年度の金子ファーム（七戸町）以来11年ぶりの快挙となった。

コロナ感染防止のため地元からのリモート発表となり表彰式に出席できなかったことから協会が表彰式の間を設定、小山田久会長から代表取締役の飯田一志さんと長男の大樹さんに表彰状とトロフィーを贈呈。出席した青森県や横浜町など関係者一堂が快挙を称えた。

飯田養豚場は母豚230頭の一貫経営で、酒かすの乾燥粉末を配合した飼料で育てた「ほろよい豚」のブランド化や、畜舎消毒など徹底した家畜衛生対策、家族協定を基盤に女性にも働きやすい職場づくりに取り組んでいることが審査員に高く評価された。

飯田代表からは、「これからも家族一丸となって、安全・安心で美味しい豚肉を消費者の皆さんにお届けし、経営の安定とさらなる発展を目指して頑張っていく」との謝辞がありました。



令和2年度家畜衛生表彰者



【寺道 和廣 殿】

尻屋牧野組合が管理している寒立馬は、尻屋崎周辺に放牧されている重種馬、東通村及び青森県においても貴重な観光資源となっている。平成26年7月に仔馬1頭が、ダニの多数寄生による貧血で死亡したことから、尻屋牧野組合と県及び東通村等の関係機関が協力して、定期的にダニ駆虫剤の投与を実施している。これまで6年間継続しており、ダニ寄生が原因で死亡する寒立馬は確認されていない。

尻屋牧野組合員は年々減少し、令和元年には組合長の寺道 和廣さん一人となりましたが、漁業と肉用牛を飼養する傍ら、ダニ駆虫剤投与のほか馬鼻肺炎ワクチン接種など、寒立馬の衛生対策を積極的に取り組んでいます。

野生獣の衛生対策推進講習会の開催

全国的にシカ・イノシシの生息数が増加し農林畜産業での農作物被害や家畜への伝染性疾病の伝播が懸念されている状況から、野生獣に関する情報と実態について県内関係者と情報共有するため、令和2年度野生獣衛生推進体制促進事業により令和2年10月29日に八戸市において講習会を開催しました。当日は県、市町村担当者をはじめ県猟友会、同支部等関係団体から約50名のご参加を頂きました。

講演内容は、「青森県内の野生動物(ニホンジカ・イノシシ)目撃情報」(県自然保護課)、「国内における豚熱(CSF)発生状況とイノシシへの防疫対策」(県畜産課)、「青森県内の野生鳥獣による農作物被害と対策」(県食の安全・安心推進課)、及び「北里大学の野生動物管理者育成と県内野生動物の現状—野生動物管理のための狩猟—」(北里大学獣医学部生物環境科学科 進藤教授)で、特に北里大学生物環境科学科では「狩猟学」を必須科目とし、狩猟免許取得もサポートしている全国的に数少ない大学との紹介が参加者から注目されていた。



あおもり土作りの匠(畜産)に2名が認定



10月20日に青森市で認定委員会が開催され、畜産部門の部で長谷川光司(鱒ヶ沢町)さんと下澤治雄(むつ市)さんの2名が、健康な土づくりで良質な農産物生産に貢献する「あおもり土作りの匠」に認定されました。これで畜産部門の認定者は7名となりました。また、12月22日に開催された県主催の「令和2年度安全・安心な農産物生産推進大会」で認定者に認定証書の授与が行われました。大会当日は会場の一角に畜産協会の「良質堆肥PRコーナー」を設け、参加者に堆肥生産者個々の「堆肥生産データ」を提供し、成分や価格などの情報発信を行いました。

2020競馬ツアー



10月24日盛岡競馬場で恒例の「競馬ツアー」を開催しました。青森市と八戸市からそれぞれバスで出発し、当協会を含めて41名の参加がありました。競馬場では1席ずつ間隔を開けて座るなどソーシャルディスタンスを確保しながらの観覧となりました。参加者はレース毎に一喜一憂しながら楽しんでいました。参加者に人気があった「競馬場裏方ツアー」はコロナ禍のため残念ながら取りやめとなりました。

来年こそは周囲に気兼ねしないでのびのび楽しみたいものです。

生産者への補てん金 交付状況

1. 肉用子牛生産者補給金制度

品種区分		黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種	乳用種	乳用交雑種
保証基準価格		541,000円	498,000円	320,000円	164,000円	274,000円
合理化目標価格		429,000円	395,000円	253,000円	110,000円	216,000円
令和2年度 第2四半期 (7月～9月)	平均売買価格	654,800円	567,400円	—	241,000円	332,000円
	交付単価	—	—	—	—	—
	交付額	—	—	—	—	—

2. 肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）※

対象区分	肉専用種	交雑種	乳用種	備考
令和2年6月期（8月交付）	179,066.7円	190,413.9円	48,078.9円	
令和2年7月期（9月交付）	113,000.4円	180,387.9円	39,031.2円	
令和2年8月期（10月交付）	132,588.225円	153,076.5円	51,616.8円	
令和2年9月期（11月交付）	108,139.05円	163,894.5円	39,206.7円	
令和2年10月期（12月交付）	32,531.325円	127,468.4円	33,969.2円	（概算払い）

※ 令和2年4月期から県畜産協会の積立金が払底（枯渇）し、国負担の4分の3を交付
積立金が払底したため国負担の4分の3を表示

3. 肉豚経営安定交付金制度（豚マルキン）

	平均粗収益	平均生産コスト	補てん金単価
令和2年度 第1～2四半期（4月～9月）	42,865円/頭	32,921円/頭	0円/頭

青森県家畜市場成績（七戸）

子牛 市場成績表

【開催日 2年12月11日】

1. 販売価格 税込み【子牛】

品 種	性	今 回 分						前 回 分			Kg単価 増減	
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg単価	頭数	平均価格		Kg単価
黒毛和種 【小計】	雄											
	去	308	1,157,200	403,700	808,521	303	323	2,499	295	768,613	2,323	176
	雌	208	1,940,400	255,200	693,444	310	289	2,400	206	673,040	2,264	136
	主	516	1,940,400	255,200	762,134	306	310	2,462	501	729,315	2,301	161
	主	4	872,300	621,500	730,950	294	305	2,397	10	567,600	2,075	322

・黒毛和種の取引頭数は516頭で、前回より去勢13頭増、雌2頭増、全体で15頭増となった。
・黒毛和種の平均価格は762千円で、前回より去勢39千円高、雌20千円高、全体で32千円高となった。

2. 主な種雄牛の販売価格 税込み【子牛】

名 号	去 勢					雌					合 計				
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)
第1花国	33	841,333	331	2,539	301	25	697,928	302	2,312	314	58	779,521	2,446	307	11.2
美津照重	30	747,487	312	2,396	306	27	695,159	290	2,397	312	57	722,700	2,397	309	11.1
福之姫	25	815,936	331	2,462	302	11	740,700	308	2,403	312	36	792,947	2,445	305	7.0
美国桜	22	778,250	308	2,530	310	12	730,583	295	2,481	314	34	761,426	2,513	311	6.6
百合白清2	19	893,489	327	2,736	300	10	712,800	262	2,726	300	29	831,183	2,733	300	5.6
諒太郎	18	814,794	331	2,459	298	7	728,200	290	2,509	304	25	790,548	2,472	300	4.8
											※その他省略				
総合計	308	808,521	323	2,499	303	208	693,444	289	2,400	310	516	762,134	2,462	306	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は、「第一花国」で、11.2%、次いで「美津照重」11.1%となった。
第一花国の平均価格は779千円で、前回に比べ34千円高となった。単価は2,446円で前回より129円高となった。

青森県養蜂協会 はちみつ品評会



令和2年10月8日に青森市の「アピオあおもり」で青森県養蜂協会主催の第8回はちみつ品評会の審査会がありました。はちみつ品評会は、養蜂家の採蜜技術の向上とはちみつの品質向上、県養蜂の振興を図ることを目的に毎年開催され、本年は29会員から77本のはちみつが出品されました。

出品された蜜は事前に糖度を測定し、審査員が風味と色沢の審査を行い、アカシヤ、トチ、りんご、その他の部門毎に厳正な審査の結果、トチの部の平憲二（五戸町）さんに県知事賞が授与されました。また、菩提樹、イタチハギ、うつぎなどの希少な花の蜜の出品もありました。一方、別室にて、フレンチシェフと養蜂家による、はちみつ料理を使った交流会が開催されました。4種類の料理が紹介され、参加した養蜂家からはお菓子以外にも様々な使い方があることを知り大変勉強になったとの声がありました。

今後とも県産はちみつのPR活動や消費拡大を図っていくこととしています。

地方競馬全国協会からのご案内

「地方競馬の馬主になりたい!」という方は、地方競馬全国協会までご連絡下さい。地方競馬の馬主登録制度についてご案内いたします。

なお、地方競馬の馬主情報については、地方競馬サイト/馬主申請Q&Aでご覧いただけます。

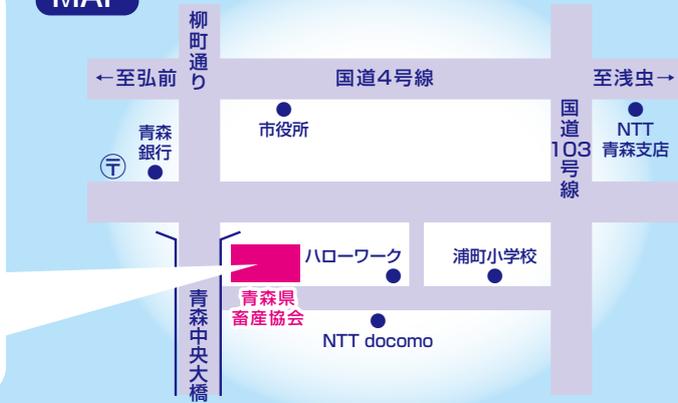
<http://www.keiba.go.jp/>



ビルの上にいる牛は家畜市場へ引っ越しました



MAP



一般社団法人 青森県畜産協会

〒030-0822 青森県青森市中央二丁目1番15号(畜産ビル)

総務課 Tel(017)723-2523(代)
家畜衛生課 Tel(017)722-4331

経営支援課 Tel(017)723-2775
Tel(017)718-3809

FAX (017)731-1196

URL <http://aomori.lin.gr.jp> E-mail info@aomori.lin.gr.jp